

『第5回 横浜市食育推進計画検討委員会』議事録

開催日時	平成22年7月22日(木) 午後2時30分から午後4時まで
開催場所	松村ビル別館 201会議室
出席者 (五十音順)	今平委員、大竹委員、金子委員、鈴木委員、長島委員、中山委員、長谷川委員、濱見委員、和田(喜)委員、和田(廣)委員
欠席者	阿部委員、伊奈委員、岩瀬委員、梅澤委員、馬場委員、日和佐委員
会議形態	公開(傍聴人なし)
議題	(1) 横浜市食育推進計画の最終案 (2) 今後の食育推進の進め方
会議資料 の名称	資料1 横浜市食育推進計画(案) 資料2 計画の主な修正点一覧 資料3-1 平成22年度食育推進スケジュール 資料3-2 食育推進計画策定後の推進方法 資料4 横浜市食育推進計画冊子及び同計画概要版の発行計画

・議事要旨

【1開会】	
企画課長	<開会のあいさつ>
副市長	<あいさつ>
【議題1 横浜市食育推進計画の最終案】	
金子委員長	今日は5回目の食育推進計画検討委員会です。当初から5回予定ということでしたので、いよいよ本日が最後ということになります。 今、副市長からごあいさつにもありましたように、本日で計画案を決めさせていただくことができれば、いよいよこの後は実施に向けて食育を推進することとなります。では、次第に従いまして、進めてまいります。議題(1)横浜市食育推進計画の最終案について、事務局から説明をお願いいたします。
企画課長	<資料1～2の説明>
金子委員長	それでは、前回の委員会で御指摘いただいた意見等をもとに、修正されました計画案について、お気づきの点がございましたら、出していただきたいと思います。本日の委員会は最後になりますから、ここでしっかりと意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。
企画課長	後で、気付いたことがありましたら、今月中であれば十分対応できますので、事務局まで7月中旬に御連絡ください。
金子委員長	いかがでしょうか。特にないということであれば、議事を先に進めさせていただいてよろしいでしょうか。 また、御意見がありましたら今月中にということですので、御意見をいただきましたら事務局でさらに手直ししていただいて、委員長一任ということにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 ～一同、了承～

【議題2 今後の食育推進の進め方】

金子委員長	<p>それでは、議題（2）今後の食育の進め方について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
企画課長	<p><資料3-1、3-2を説明></p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。それでは、今説明いただいた資料3-1と3-2について、委員の皆様から御意見、御質問をいただきたいと思えます。 初めに私から確認させていただいてよろしいでしょうか。 食育推進会議の中に構成員として新たに賛同していただける民間事業者を募集したいということですが、これについては、この資料3-2の右に民間事業者との連携にいくつかの民間事業者が入っております。これらの民間事業者に入っていただくのでしょうか。これらの民間事業者に推進会議の中に入っていただくには、誰かの推薦がいるとか、もう少し具体的に何かありますか。</p>
企画課長	<p>最初、1点目ですけれども、この構成員と、今御説明したセブンイレブンや、イトーヨーカ堂なりが関係しているのかということですが、現時点では特に関連付けておりません。ただ、これから一緒に具体的なキャンペーン等でセブンイレブンや、資料に掲載している企業との話し合いの中で、本市の推進組織に参加したいという意思が企業から出てくれば、特に参加を拒む必要はないかなと思っております。 それから、推薦等の資格の問題ですけれども、特に、現時点では、事務局で具体的に推薦は考えておりません。一定程度、行政内部で審査のようなことをさせていただいて、また、この会議自体も公的な性格も帯びていますので、ここにいらっしゃる皆様にもお諮りしながら決めていきたいと考えております。</p>
和田（喜）委員	<p>計画の概要版について気になる場所ですが、5000部配布予定ということで、一番市民が手に取りやすいのが概要版だと思います。概要版は、例えば、青少年が手に取ってみても、わかりやすい内容であるのか。例えば、対象を市民全体にしているとは思いますが、子供の範囲まで含めているかどうかについて、お伺いしたいと思います。</p>
企画課長	<p>資料4で改めて説明をさせていただく予定になっていますが、前回もお話したように、できれば、小学生の高学年ぐらいのお子さんと御両親の方が家庭等で、一緒に話し合っていけるような教材になればいいかなと思っておりますので、できるだけわかりやすく、それから興味を引くように工夫していきたいと考えております。 また改めて部数等につきましては、資料4で説明をさせていただきます。</p>
大竹委員	<p>民間事業者との連携とありますが、セブンイレブン、イトーヨーカ堂とかいろいろ名前が出ていますが、これはどのようにして、ここに挙がってきたのでしょうか。どのようにして、これが選ばれたのでしょうか。</p>
企画課長	<p>まず、基本的な考え方ですけれども、我々としては、まず食育について市民の関心を高めることが重要です。そうすると、プロモーションというのが、一番大事ですが、我々は、前回も御説明をさせていただきましたが、行政も、かなり予算が厳しくなっております。特にこういった啓発、広告といった予算というのが、正直言って、真っ先に縮小されているので、その中で、食育を推進しようという志のようなものを共有してやっていけるような企業から申し出があれば、一定の審査のようなものを経て、そこでクリアできる企業とできるだけ多くコラボレーションしていこうというのが、基本的な考え方です。 セブンイレブンについては、横浜市と包括連携協定という、食に限らず、災害時とか、そういった面での協力を横浜市とセブンイレブンでやっていこうというものを既に締結しています。食に関しては、サンドイッチの話が去年、セブンイレブンから横浜産野菜を使用したサンドイッチを販売したいという申し入れが横浜市にありまして、それで昨年から実現をしたものです。今年も2回目ということで販売をしています。 ただ、食育に関して、朝食を取りましようとか、野菜を食べましようとか、そういうキ</p>

	<p>キャンペーンについてはまだセブンイレブンとやっておられませんので、そういったことも今後できますかという提案をさせていただいているところです。</p> <p>また、セブンイレブンだけではなく、横浜市として、ローソンとも包括連携協定を結んでおりますので、ローソンとも今後相談させていただきたいと思っております。</p> <p>また、セブンイレブン、ローソンだけではなくて、他のコンビニは、共創推進事業本部という、企業と協力するときに、窓口になる部署がありまして、そこで広く募集させていただきたいと思います。その上で、個別に声を掛けて、連携させていただける企業があれば、連携に取り組んでいこうと考えております。</p> <p>また、イトーヨーカ堂、京急ストア等、スーパーとの連携については、昨年にも、「健康横浜21」の一環として、保健事業課で実施しておりますので、今年度についても引き続きやっていきたいと考えているものです。</p> <p>この民間事業者との連携ですけれども、資料には、企業の名前が多いですが、必ずしも企業と限定しているわけではなくて、幅広く民間事業者と連携していきたいと思っています。出席されている委員の皆様もそれぞれ団体に所属していらっしゃいますが、それぞれの団体に、横浜市と一緒に食育の取組を実施していただければということがあれば、是非とも事務局に提案していただければ幸いと思っています。</p>
和田（廣）委員	<p>計画印刷部数は5000部とか2000部と書いてありますけれども、市民全部だと何百万人といえます。全部を配られたにしても、1万部にもならないのではないのでしょうか。</p>
企画課長	<p>部数ですが、確かに当然少ないですが、現時点では、資料にありますように、区役所、市役所、関係団体、委員の皆様が所属する団体などを中心に配らせていただこうと考えています。</p> <p>それ以外については、横浜市のウェブサイトに掲載をさせていただきますので、そちらを通して中身を見ていただこうと思っています。</p> <p>また、印刷経費は、22年度予算ではこのぐらいしか印刷できないという事情もありますので、もし、もっと冊子を増刷して配ってほしいという要望が強ければ、23年度予算でも対応することは可能でございます。この計画自体は、既に皆様御承知のように6年間ですので、足りないということであれば、翌年度の予算、さらにはその翌年度の予算という中で追加して印刷して配ることは可能です。</p>
今平委員	<p>この資料3-2の3のプロモーションの進め方の部分の（2）ウェブサイトでの集約は、横浜ガストロノミ協議会として、料理人の皆様が積極的に食育を進めていますので、御協力できることがたくさんあると思います。それに伴って、この民間事業者との連携の部分もいろいろと例えばそういった講習会をする場所等、協力していただいているところなどもありますけれども、これは具体的には、紹介という形をして、横浜市で動いていただければということでしょうか。</p>
企画課長	<p>事務局に相談していただければ、できる限りコーディネートをさせていただきたいと思っています。</p>
今平委員	<p>わかりました。</p>
企画課長	<p>今の資料の3-2の（1）の食育推進会議ですが、今日皆様から御了解がいただければ、この食育推進会議の参加の御案内を今後させていただきますので、その際には是非とも御協力のほど、よろしく願いいたします。</p>
中山委員	<p>資料3-2の3のプロモーションの進め方の（3）の共通ロゴの作成については、具体的な部分を追加で説明等あるのですか。</p>
企画課長	<p>ロゴについては、現時点では、この資料にある域を超えておらず、具体化の検討は今後にさせていただこうと思っています。ただ、基本的には、先ほど御紹介しました、セブンイレブンからもロゴマーク等があれば、そのサンドイッチ等のパッケージにロゴマークを付けたいという話があるので、民間とのコラボレーションの一つのシンボルとして、ロゴ</p>

中山委員	<p>を作った方がいいのではないかと考えており、基本的には作りたと思っています。</p> <p>ただ、具体的にどんなものにするのかというのは、コストの問題、あるいは魅力的なものにしなければならないといった問題に加えて、既に横浜市もロゴマークやキャラクターを持っていて、いろいろと批判の声もないわけではないので、それらも含めて検討した上で、委員の皆様には具体的に進んだ時点で情報提供をさせていただきたいと思っています。</p> <p>ロゴやキャラクターは、食育を進めていく上でも逆に自分たちも食育を進める中で共通認識のうえで進められるという部分では、非常に助かる部分もあると思っています。是非やっていただきたいと考えています。</p>
金子委員長	<p>賛同の御意見をいただきましたが、ロゴにつきまして、こういう点は気を付けてほしいとかという御意見はないでしょうか。</p>
長島委員	<p>ロゴにつきましては、子供たちが喜ぶような、書きやすいもの、例えばアンパンマンの顔って誰でも書ける、お母さんや子供が書けるようなものがよく、複雑でないものがいいと思います。</p> <p>質問ですが、この3-2の2の推進組織の設置で、食育推進会議が今後構成員を募集して、成立していくとき、この目的のところでは食育のプロモーションを民と官が一体になってそれぞれの持つツールを活かし合い、全市的により効果的に進めるための組織とありますが、年1~2回程度で、具体的にどのように進めていくとか、年1~2回程度で何ができるのかなと思いますが、進め方とか、具体的な方法とか、もしおありでしたらお聞かせいただきたいと思っています。</p>
企画課長	<p>目的はここに書いてある目的がまず一つありますし、また、委員の皆様は御承知のように、食育は、食の安全、地産地消、健康的な食生活など、かなり幅広い分野、ジャンルを取り扱っています。そのため、異業種の関係する方々が集まって、互いのやっていることをお互い情報交換、意見交換をして、お互いに把握し合う、一元化する、そういった役割を持たせることも、とても大事だと思っています。少なくとも年に数回集まって、それぞれの団体、企業、行政がやっている取組をお互いに提供し合って、その上で相乗効果が得られるような、連携ができる道を探っていけるような会議にしたいと思っています。</p> <p>回数については、資料では年に1~2回と書いてありますが、ただ現実にはなかなか委員の皆様も忙しいでしょうから、これも相談ですけれども、例えば、部会みたいなものとか、ワーキングみたいなものを設置し、そちらである程度具体的な計画みたいなものを練る必要があれば実施して、推進会議に承認を得る、もしくは御報告するといったようなやり方もあると考えています。</p> <p>いずれにしても、組織のあり方や進め方については、まだ具体的な部分は決まっておきませんので、これらについても委員の皆様からこうしたほうが良いという意見がありましたら、事務局にお寄せいただければ有り難いと思います。</p>
長島委員	<p>わかりました。ただ、御協力いただける民間事業者というところで、セブンイレブンやイトーヨーカ堂とか、このようなスーパー系であったり、そういうもののみが並んでいる中で、そういう方々がもし、皆様の承認を得て入ってきたときに、この委員会の方々は、例えば栄養士さんであったり、様々な分野から本当にバランスよく入っているかと思いますが、そうした中で、片寄った毛色が強くなってしまったりすることもあり得るわけで、そういうところで何をすべきかを、ある程度持っていなければならないと思います。多くても構わないのか、多ければ都合が悪いのかということも考えておいたほうが、民間事業者の選定に関連してくると思ったもので、お伺いさせていただきました。</p>
企画課長	<p>参考にさせていただきます。</p>
金子委員長	<p>人数がどんどんたくさん増えるということでもないのでか。</p>

企画課長	<p>私は、正直言って、そういう心配はほとんどしていませんが、ゼロという可能性もないわけではないなと思っています。ただ、基本はこのメンバーを中心にしつつ、委員募集のような機会も含めて、食育をPRする機会だととらえていますので、募集も含めて話題を作って、食育のウェーブを広げていきたいと考えています。</p> <p>そのため、新たに募集をして入ってくる委員については、何人ということもまだ考えていませんけれども、現実を考えるとそんなに多い人数を入れるということは難しいのではないかと思います。</p>
長島委員	<p>うれしい悲鳴でいっぱい来てしまったらよいのですが、選定基準というものがなければ、スーパー代表にするのか、全部のスーパーがオーケーなのかということもあるかと思えます。やはり募集は、選定基準をお示しするときに困らないようにしていただけるとよいと思います。</p>
企画課長	<p>わかりました。</p>
金子委員長	<p>食育推進会議という新しく始まる予定の会議について、ほかに御質問や、あるいは、こういうふうにしてほしいというアイデアや御意見がございましたら、どうぞお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>今日は最後ですので、本日は最後にお一人ずつ、一言ずつコメントをいただきたいと思えます。そのときにまた、お考えを述べていただいてもと思いますので、ここは次に進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>食育推進のロゴについては、事務局で具体的に進めていただいて、もしロゴができ上がったというときには、どうぞ皆様、御関係のところでは是非お使いいただいて、食育推進に役立てていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、最後、資料4について説明をお願いいたします。</p>
企画課長	<p><資料4の説明></p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。スケジュールを見ますと、これから事務局で概要版の作成、印刷の準備をして、市会に報告して印刷し、秋に配布という予定だそうです。事務局で作成は、全部一任でやっていただくということですね。</p> <p>先ほど和田（廣）委員から部数のことについて質問等出ましたけれども、何かこれにつきまして御意見がありましたら、どうぞおっしゃっていただきたいと思えます。いかがでしょうか。</p> <p>この後御意見があれば、事務局に連絡ということでよろしいですか。</p>
企画課長	<p>はい。よろしくお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>それでは、本日の御意見を踏まえて、これから進めていただきたいと思えます。</p> <p>本日の議題は以上で終わりました。特に御意見、御質問等がなければ、最後に委員の皆様にお一人ずつお話をしていただきたいと思えます。この検討委員会の感想でも構いませんし、これからの横浜市の食育推進についての御意見や御要望も是非お願いいたします。</p> <p>また、先ほど話題に出ましたロゴについて、ロゴができた場合に、御関係の団体等で使用できるかどうかということも具体的にございましたら、こういうところで使える、使いたいというようなことを言ういただければ、事務局は大変有り難いと思えます。</p>
中山委員	<p>私は農業者として、やはり食というのは、本当に命の根源であるということ、農産物を育てている中では日頃から強く感じているところでもあります。食農教育という形で活動等をさせてもらっていますが、そういう中でもやはり命の根源という部分で、子供たちと実際に畑などの現場で話をする中では、本当に子供たちがいい形で受け入れてくれると実感しております。</p> <p>そういった中で、良い形で食育が進んでいくということは、やはり横浜市民、子供たちも含めた中でよりよい食という部分が確立していくのかなと思っておりますので、大変食育推進に関しましては、期待しているところであり、我々も農業団体であるので、農業の</p>

	<p>側面からも協力できる部分は協力していきたいと考えております。</p> <p>ロゴの使用について、J A横浜青壮年部では、部員あての機関誌を、部員あてと農協の組合員、1万人に対し、部員あてに年間で4回、組合員あてに2回配布していますが、それが約1万部を2回、1000部ぐらいを2回程度配布しております。そこで、一応ロゴは活用させていただくということをお願いできればと思っております。</p> <p>なお、推進会議について、検討委員会には、私はJ A横浜青壮年部顧問として、本部の外から意見を申しておりますので、今後の推進会議には、本部に参画している役員に移行して、実質的な部分で会議の中で意見が述べられるような人間に交代しようかなとも検討しております。今後は皆様とは会議の場では、お会いできない可能性もあるかと思いますが、また違った場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。</p>
長島委員	<p>私は、たまたま自分自身が料理教室を主宰しているのが本業であり、また、PTAの関係で食育について、関東ブロック大会や日本PTAの大会の中で、食育の担当として、横浜の給食のこと等を発表させていただいて、記事も書かせていただいております。</p> <p>先日、日本PTAの61協議団体の全国会議で、会長という立場で出席させていただいて、その中の構成委員の食育担当になりました。このような機会を通して、横浜の食育がPRできるなどと思っております。全国のそれぞれの食育活動についても、文部科学省の進めている「早寝早起き朝ごはん」等の活動をまとめていくことになると思いますが、そこで横浜がアピールできたらいいなどと思っております。</p>
鈴木委員	<p>保育園に関係してからずっともう30何年間か、食べることが子供たちの最大のこれからの武器になるということで、何しろ食べさせたいと思ってやってきました。管理栄養士さんからは、これはちょっと甘いものが多過ぎるとか、いろいろ言われますが、食べることに興味を持つということを大切にしています。今、うちの保育園には管理栄養士が4人おりますので、4人が交代で対応しています。うちは、ほとんど園庭がなく、地面がないのですが、屋上で様々なものを作るなど、今朝も、ピーマンが20～30個採れたと言っておりました。それを子供たちがまず触ってみて、様々なことをやっています。そうすると、3歳は3歳なりの触ったときの感想のようなものがあるものです。</p> <p>ただ、保育園の中ではそのようなことをずっとやってきていますが、これは栄養士ともずっと言っていますが、どのように親にこのことを伝えていくかということが一番課題だと思います。今回、検討委員会に出させていただいて、それから、またこの計画ができるということで、保育園でもやっているし、横浜市全体としてもこんなふうにはしていますよということが、親に対して食育について一つの渡せるものとなると思います。ただ、保育園に関係しているお母さんたちは残念ながら余り興味がなく、時間がないのかもしれないけれども、保育園の帰りになるべく安くなったお弁当を買って、今日は何弁当にするかという話をしています。いろいろバラエティには富むけれど、別に自分で作るのではなくて、帰りがけに買っていくお弁当の種類で子供たちが今日は何弁当といった話題になってしまっています。残念ながら、現実はそのことです。できるだけお母さんたちに理解をしていただきたいと思います。今回、出させていただいて、本当に勉強になりましたし、よかったなと思います。</p>
大竹委員	<p>食にはとても興味があって、いつも考えていましたが、検討委員会に出させていただいて、また勉強することができました。これからは力は小さいけれども、地道にコツコツとそういうことを考えていらっしゃる方がたくさんいることを心強く思ってやっていきたいと思っております。</p> <p>形になっていいものができるのがとてもうれしいと思いますが、民間と連携しながらやっていかなくては広がらないものがあると思いますし、様々なことがわかっているつもりですが、食育はとても幅が広いので、どこかの企業の儲けにならないよということをお願いしたいと思いつつ、子供たちの食育を考えていきたいなと思っています。</p>
今平委員	<p>私たちは料理人ですから、料理人の立場からお役に立てることというのが、これからはたくさんあるのではないかなと思っています。</p> <p>先日も浅間台小学校に行かせていただいて、子供たちや、お母さんたちと一緒に調理をしています。私たちはいつも子供たちに食を通して何か大切なことを伝えていこうという</p>

<p>和田（廣）委員</p>	<p>思いで続けていて、やはりそのことが家族の皆様に伝わっていくことがすごく大切なことではないかなと思っています。私たち料理人というのは、和食でも中華でも様々な種類の方々と様々なつながりがありますが、今後も現在の活動を続けていく中で、こうして様々な分野の方々に様々なお話を聞かせていただきたいと思います。やはり今回こうやって御一緒させていただいた皆様に、地産地消や学校のことにしても、医者の方もいらっしゃるの、様々なことで、これから教えていただきながら、開港の町、横浜で、一緒にできることがあるのではないかなと思います。</p> <p>私は医師会では、学校医と保育園という、子供のところを担当しており、食育に関連するということで、推薦を受けてまいりました。</p> <p>これを見ますと、実は食物アレルギーが、保育園や学校等で今、食事に関しては一番の注目されていることだと思います。今後も入れていっていただければということです。</p> <p>また、肥満について、43ページが一番下のところで出ていますけれども、意外と学校で調べると実際、割合的には肥満の人よりもやせが多いようです。中年太りで、もっとコレステロールを減らして、油減らして、やせなきゃいけないという場合がほとんどですけれども、子供では逆にやせの方が多いということなので、そういう点も取り上げていったらどうかと思います。</p>
<p>和田（喜）委員</p>	<p>5回のうち4回参加させていただきました。参加していく上で、様々な分野で活躍していらっしゃる方から様々なお話を聞くことができ、とても勉強になりましたし、いい刺激を受けることができました。</p> <p>私は、「こんにちは赤ちゃん訪問員」として、横浜市から委嘱されて、新生児のいる家庭を回っています。昨日は3軒ほど訪問してきましたが、お母さん方は、授乳で悩まれます。あと、子供のアレルギーのこと、皮膚の状態のことで悩まれます。食育の一番基本は、もしかしたら授乳なのかなということを感じながら、それはお母さんの食育が子供に影響して、子供の成長に影響して、大人になってまた子供を育てていくという循環をしていくわけです。乳幼児の親、妊産婦対象の食育の情報提供という記載が15ページにありますので、その辺は安心して、それを広めるにあたり、私たちの団体でも地域子育て支援拠点が各区にできてきていますけれども、そちらのスタッフも多くおりますし、親と子の集いの広場のスタッフもかなりおりますので、そういう草の根から広げていく、情報提供していくということには、お役に立っていただけるのではないかなという可能性を感じています。</p>
<p>濱見委員</p>	<p>私たちは「健康横浜21」の普及啓発、あと食育推進に力を入れて普段から活動させていただいております。先ほども民間事業者との連携というお話がありましたけれど、もう既に2年前ぐらいからスーパー大型店との連携として、朝食を簡単に作れるような野菜の料理などのレシピ、また試食等をその場で出しまして、土曜、日曜日の若い世代の方が集まる時間帯を狙ってキャンペーン等をやっております。また、今年は、昨年よりも倍ぐらい多い数の場所でのキャンペーンを予定しております。</p> <p>先ほどのロゴにつきましては、そのときのレシピにつけたり、また、キャンペーンのときに、そのロゴマークが使えたりと、皆様にわかっていただくことができるのかなと思いますので、是非、注目したいと思います。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>私どもは、食品衛生協会ですので、食の安心、安全というような観点からいろいろお話があったものについて、これからも何か協力できるものを見つけて、団体でも様々な活動をしていかなければいけないのかなと思っています。</p> <p>一昨年、西区では、区役所と一緒に子供たちのお弁当コンクールをやったこともありますが、このように様々な形を見つけながら活動していかなければいけないと思っております。また、ロゴに関しても、様々な業種のお店もあるので、そこでPRできればそれを活用していければと思っております。</p> <p>私、本業が牛乳屋でございます。牛乳の消費が毎年非常に落ちているので、非常に残念なことです。この総合栄養食品をもう少し生活の中に入れて健康な体づくりに努力していただければと思っております。</p>

金子委員長	<p>委員の皆様、ありがとうございます。最後に私も一言、皆様に御礼申し上げ、また、私は大学におりますので、大学生は余り食育に関心がないですので、是非大学でも、若い人たちを巻き込んでいけるようなことを工夫していきたいと思っています。</p> <p>御家庭の小さなお子さんと親御さんについては、今、委員からも随分いろいろこういうことをやっていますというお話をいただきましたので、様々なことができるのではないかと思います。この検討委員会では、それぞれの皆様のそれぞれのこういうことができるということを活かすというよりも、御意見をいただくということでしたけれども、このあとの推進会議では是非、皆様にそれぞれの持ち場で御活躍いただき、そして、ネットワークを横浜市内で作っていけるようにできたらと期待しています。</p> <p>それでは、これで終わりにしますが、事務局から何かございますか。</p>
企画課長	<p>委員の皆様、5回にわたる委員会に御出席いただき、また、中身の濃い議論をしていただきまして、本当にありがとうございます。お陰様でいい計画が作れたと思っております。</p> <p>最後になりますけれども、健康福祉局の立花より一言ごあいさつさせていただきます。</p>
健康福祉局長	<p><あいさつ></p>
金子委員長	<p>事務局からはこれでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これをもちまして、最後になりました、第5回横浜市食育推進計画検討委員会を終了とさせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>